

# 3月のできごと まちかど クリップ

## 珍しいアナログゲームにみんな熱中

苫小牧ママカフェ部（白浜真理奈部長）が主催の「アナログゲームであそぼう」が18日、弥生連合町内会館（弥生町2）で行われ、大勢の親子が詰めかけました。

小樽の人気玩具店「キンダーリープ」（小樽市住吉町4）を招き、用意された数十種類のアナログゲームで自由に遊ぶイベント。参加者らは同店のスタッフから遊び方やルールを教わり、次々とアナログゲームを楽しみました。



▲試験管に入った3色6個の玉を、カードに描かれた配置と全く同じになるよう指を使わずに入れ替えていく「Dr.Eureka」（ドクターエウレカ）は、人気の高かったゲームの一つ。

糸井小3年の阿部結衣菜さんは、「頭を働かせたり手先を使うアナログゲームは楽しい。負けたり失敗すると悔しくて何回もやりたくなる」と話し、夢中で遊んでいました。

## チャリティー市民音楽祭 歌や演奏を満喫



▲迫力あるステージを披露

幅広いジャンルの音楽を楽しむ「とまこまいチャリティー市民音楽祭」（同実行委主催）が18日、苫小牧市民活動センター（若草町3）で開かれ、多くの市民が詰め掛けました。

「様々な年齢層の人が楽しめる音楽イベントを開きたい」と初めて企画。苫小牧を拠点に活動するシンガーCANDOLLKEY（キャンドールキー）さんや津軽三味線ユニット「TIES（タイズ）」をはじめ、市民音楽団体、高校の吹奏楽部、ダンスグループなどがステージ発表を行いました。

ギターやドラム、DJ機材などが体験できるコーナーもあり、来場者はプロの指導を受けながら演奏を体験。音楽と親しむ1日を満喫しました。

会場には募金箱を設置し、集まったお金は赤い羽根共同募金へ送られます。実行委員長の堀内直人さん（38）は、「多くの方に楽しんでもらえて、手ごたえを感じました。また開催したい」と話していました。



▲楽器演奏を体験

しんちゅう

## 真鍮を成形し アクセサリー作りワークショップ

▶アクセサリー作りに挑戦する参加者たち



真鍮アクセサリー作りの1dayワークショップが8日、苫小牧市双葉町2のセレクトショップ「Loobloom（ループルーム）」で開かれました。

講師は「Clover Market」を主宰し、各地のイベントに出店している苫小牧市内のアクセサリー作家、happa（はつぱ）さん。

まずは、直径1.2mmの真鍮ワイヤーを好きな長さに切って形を整え、ハンマーでたたいて成形します。ピアスやイヤリングのパーツと組み合わせて出来上がり。

叩いた真鍮の表面はハンマーの跡で味わい深い文様が付けられ、参加者たちは「上手にできた」と満足そうな笑顔を見せていました。

★Loobloomは4月27～29日の3日間、開店6周年記念イベントを開催します。半額コーナーを設けるほか、期間限定でメンズアイテムの取扱いも。また、買い物5,000円（税抜）ごとに、次回から同店で使える商品券が当たる抽選会（1等5,000円～6等500円でハズレなし）に参加できます。さらに、買い物5,000円（税抜）以上の方にはオリジナルのトートバッグをプレゼント。この機会に春夏アイテムをおトクに手に入れてみては。



▲完成した作品

## カラオケ愛好者らが自慢の歌声披露

「歌で元気！チャリティー北海道歌まつりin白老」が24日、白老町中央公民館（本町1）で開催されました。

町内のほか、室蘭や千歳などからエントリーした62人がステージ上で自慢のノドを披露。会場に詰め掛けた約500人の中には出演者の家族や友人の姿もあり、声援や花束を贈っていました。

ゲストの演歌歌手、川野夏美さん（日本クラウン）の新曲発表や、テレビのカラオケ番組で優勝経験がある室蘭市在住の竹野留里さんの特別出演もあり、来場者は楽しいひとときを過ごしていました。



▲衣装もバッチリ決めてステージに上がる出演者